

志賀神社芸能伝統保存会と本当屋との打合せ

日時：R6 年 9 月 13 日（金）19 時半～20 時 45 分

場所：川地コミュニティセンター図書室

出席者：（大坪）成清、中田（猛）、末国（栄）、末国（富）

（保存会）野崎、大倉（六神儀）、河野（獅子舞）、品川（神輿）、前川（事務局）

成清さんが司会進行、末国（富）が資料の説明をした。

配布した資料は、議事案（以下の資料）、行事進行表（案）、舞殿の見取図の 3 枚

検討は、議事案の 1 から 3、2 は大きな話なので後回しにした。

説明や出された意見等は、右の枠内に示した。

1. 六神儀・獅子舞・神輿の興行にかかる経

費及び準備作業の負担について

①衣装のクリーニング代

説明：クリーニング代は従来から本当屋が負担してきた。今年も負担する予定です。

意見：なし

②舞殿の準備と演技中の支援

③必要な衣装や舞台装置の調達方法

例：神降ろしの飾り

説明：舞殿の準備は後回し。

大倉：六神儀が神降ろしの役割を持っているので必要なし。演技に使う弓などは保存会が準備する。

意見：使った衣装を畳んだりする補助員について、いろいろ意見があったが、不要（保存会側で対応する）になった。

御幣を作る人：御幣は六神儀の演技にも 4 つ必要だがだれが作るのか。

成清：宮司が全部作るはず。確認する。

説明：アンプなど音響設備は川立神楽団から借りることになっている。

河野：聞いている。自分が操作する。

④その他

2. 志賀神社の伝統芸能が定着し安定して運営できる仕組み

①氏子の支援方法

②宮司・総代会の役割

③当屋（本当屋）の関与の仕方

3. R6 年の興行準備

①前夜祭と大祭の時間割について

別紙（行事進行表）を参照

説明：当屋寄りの時間割と岡城の計画を並べて示した。

意見：（色々出たが）当屋寄りで説明した時間割で進めたい。

②六神儀（舞殿）の準備作業
別紙（舞殿見取図）を参照

説明：舞殿見取図を見ていただきたい。
大倉：大太鼓を叩くためにパイプ椅子を1脚用意していただきたい。
成清：了解。ストーブ1台と灯油を用意する。
舞殿の準備：舞殿見取図のとおり。

③神輿と獅子舞の準備作業

品川：神輿1台の所要人数は8から10人（志賀神社の神輿は重たい）。神輿の運搬台車のタイヤの空気が抜けていることがあるのでチェックが必要

4. その他

説明：傷害保険を掛けるために役割表の名簿が要る。
成清：役割表を配布したいので、」名簿を出していただきたい。
結果：前川さんを窓口に今月末まで出すことになった。
前川：六神儀と獅子舞の練習場所として川地コミュニティ2階大会議室を確保した。
大倉：練習は、来月6日から毎日やる。
河野：獅子舞は、5日に具体的に決める。

項目2は、時間もなく内容も大きなテーマなので意見交換できていない。ただ、保存会側から太鼓などを良い状態で保管する場所が欲しいとの意見があった。
六神儀、獅子舞などの演技には、それなりの経験が要るので、保存会の名の下に“覚えのある比較的若い人”が集っていただければ、演技内容や技量も高まり、本当屋だけでなく氏子全体にとって誇れる保存会になってくるのではないかな。それには維持できる資金（花）の確保が重要だろう。
今年の「花」は、「六神儀、獅子舞、神輿、巫女の舞」の4つ以外は総花ということで良いかな？